



▲ いつになく早く咲いて楽しませてくれます (5月5日撮影)



金光寺寺報  
第238号  
発行所 金光寺  
宮崎県西臼杵郡  
五ヶ瀬町大字鞍岡  
5927番地  
☎ 0982  
83-2338

今月法語カレンダーのことば

己れに願いはなくとも 願いをかけられた身だ  
藤 元 正 樹

今月のことばに二度「願い」が出てきます。一つ目は私が起こす願いのことで、阿弥陀如来の浄土に生まれて仏になりたいと願う心のことです。しかし、仏道を好むよりも世俗的な快楽を追求するのみで、さとりを求める心が起こらないのです。仏となる道を歩めないもの。浄土に生まれて仏になりたいと願う心が起こせないもの。そのようなものこそが救われていく教えが浄土真宗であり、その教えの中心は阿弥陀如来の願いであると説かれるのです。

二つ目は、阿弥陀如来の願いのことです。仏教の教えには無関心で、私にはまったく関係ないものと決め込んで生きていても、阿弥陀如来の願いを受けた存在なのです。阿弥陀如来の一方的な願いによって私たちは仏教の教えを聞き、南無阿弥陀仏とお念仏申す身となっているのです。このことは、願いには人

を育み成長させる力があることを示しています。

阿弥陀如来の願いに学ぶ時、人は願いなくして生きることができないことを教えられます。私の方からお願いもしていないのに、私のことを案じ、一方的に注がれている願いがあることに気づく時、自分の力で生きてきたと思っていたことが、生かされているという受けとめへと転換されていきます。そして、行かされていることに気づく時、生きることが豊かなものであるという思いが湧きだしてくるのではないのでしょうか。お願いすることもなく、精一杯生きてきた私ですが、すでに阿弥陀如来の願いを受けて生かされている確かさを南無阿弥陀仏によって知らされているのです。(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日には緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎ 5月 26日 終日

初盆会について

本年8月のお盆に初盆会をおつとめになれるお宅でお参りの希望時間があるお宅は早めにご連絡ください。申し込まれた順に時間を決めていきます。

本年4月に次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2021年 4月 4日満99歳  
長峰 甲斐房男様

ホームページ開いています。

URL <https://konkouji.jp/>

5月5日現在アクセス数 117,150人

金光寺のひと月

六日	五日	四日	三日	一日	四月
甲斐房男様 初・七日忌	甲斐房男様 納骨	甲斐房男様 還骨	甲斐房男様 葬儀	甲斐房男様 通夜	曾我部善一様 二・七日忌
					秋原政宗様 三・七日忌
					当山前坊守釋妙順 月命日
					甲斐房男様 臨終勤行
					田原フサノ様 十七回忌
					霧井光義様 四・七日忌
					熊川忠様 七回忌
					熊川キミ子様 一周忌
					馬原京様 七回忌
					馬原長三郎様 五十回忌
					馬原作平様 三十三回忌
					藤田等様 十三回忌
					宗祖親鸞聖人 月忌
					曾我部善一様 四・七日忌
					金光寺第三世釈浄玄 祥月
					霧井光義様 五・七日忌
					田中安男様 三十三回忌
					金光寺第五世釈祖的 祥月
					秋原政宗様 四・七日忌
					第一回住職会(高千穂町)
					古小路サト様 五十回忌
					曾我部善一様 三・七日忌
					甲斐房男様 礼参り
					玉川ミエ子様 二十五回忌
					当山前住職釋依章 祥月
					霧井光義様 六・七日忌
					高千穂組組会(当山)
					曾我部善一様 五・七日忌
					菊地一夫家 納骨堂勤座
					第一回組長会(宮崎教務所)
					秋原政宗様 六・七日忌
					那須春男様 満中陰・納骨
					霧井光義様 満中陰・納骨
					興沼信義様 七回忌
					馬原キヤ様 五十回忌
					曾我部善一様 六・七日忌
					白瀧浩俊家 仏壇閉扉式
					白瀧浩俊家 入仏式

住職ひとりごと

たかすなとま危防最戦先▼りしいるとた日あ食前まりれさて仏がら齊まの  
。ーがるまし険ぐ後い頭さーよえと読。本っ事のしくそれも参`れへし影新  
反殿`なすたなこにかをきとうば確み読酒ただ形ただれてお又昨たとた響型  
省`霧とる。配とあら行がいか`かまめーのけ態▼さのも齊は年方き。でコ  
!に困肝時法置。っ退くけう`中にすま殿ででのそいご皆はごーと)以法口  
(な気には事をどて却ことこさ学あ。す`すなごん`自さ無自月会が前事ナ  
っが銘`に表ち追すとはとき生り翌。か?とがく縁なと宅んし宅末食あはのウ  
て良じ決あすらる。戦をがのま日`い、アが中いでに、で以がり法形イ  
しかてしっ言もて時しい知け頃し辞「ういルあ、うお配或つ降あ、要態ル  
松井卓いたる最はと事る軍が望ましっ。でが前だ!ま月にしてはめ法ま要後変感  
郎またの後お学上敵列りんしんたそ調りでい。な上`準ら事しに、わ染  
)しめでにいびののをのはでたがでうべ`したも。以りがそ備れはた参おり症